

きくち やすえ

菊地 靖枝
前区議会議員

■練馬・生活者ネットワークきくちやすえの活動を紹介します。 レポート4

<http://kikuchi.seikatsusha.me>

facebook

きくちやすえ

検索



生活者ネットワークは暮らしの中から生まれた声を政治に届けるために活動している市民の政治団体です

TOKYO Your Voice みんなの声

詳しくはこちらから <http://yourvoice2020.net>

since 1977 ● 40years

「ひとこと提案」

生活者ネットワークの政策は生活から生まれます。40年続けてきた「ひとこと提案」には生活のなかの不都合や悩みが数多く寄せられます。

今でも、自衛隊機が飛んでいるのに、羽田空港の増便で更に低空の飛行機が増えるの？

2016年 60代

議員の報酬や、政務活動費の見直し、黒塗りの報告書の扱いはどうなるの？

2016年 60代

きくちアタック! 都議会を変える

1997年から議会改革を求め、2017年2月議会で議員報酬などの削減が決定。公用車、海外視察の見直しも必要です。議会情報の更なる公表を促し、開かれた議会にします。

その一部をご紹介します。

都政にアタック!

きくちアタック! 地域から平和をつくる

羽田空港機能強化は騒音や落下物事故の危険があり、見直しを国に求めました。東京の空にもオスプレイが飛来し、不安の声があがっています。自治の力で平和を守り通す覚悟が必要です。戦争は最大の人権破壊です。

延長保育1分21円。子育てはお金がかかる。これからどうしたらいいの？

2017年 30代

ダブル介護で仕事をやめました。介護破産になりそう。

2015年 50代

減災のまちづくりで無電柱化が優先？また道路工事が始まるの？

2016年 70代

福島原発事故で放射能汚染、被ばくなど子どもたちの将来が不安です。

2011年 30代

きくちアタック! 子育て・介護は社会のしごと

子育てや介護などは、区や市などの独自事業になります。練馬区の特徴にあった福祉事業ができるよう『福祉総合交付金制度』を都に提案します。

きくちアタック! 災害・減災に備えるまちづくり

都が災害から復旧するためには1兆円規模の基金が必要です。「災害復旧・復興基金」はまだまだ足りていません。何よりも、まちづくりに欠かせないのは地域住民との合意形成の場をつくることです。

きくちアタック! 市民の参加で都政を変える

チェルノブイリ原発事故(1986)による食品放射能汚染を契機に、直接請求署名(55万筆)1989年提出。「食品安全条例」の実現に15年かかりました。「原発」都民投票条例制定を求める直接請求の請願署名(2012)では32万筆を集めました。市民の参加が都政を変えていきます。

天笠啓祐 / 大嶽貴恵 / 加瀬和美 / 木原省治 / 黒部信一 / 後藤尚美 / 小柳智恵 / 坪井眞里 / 中川李枝子 / 本尾 良 / 山田和夫

科学ジャーナリスト 環境まちづくりNPO エコメッセージ理事長 北東京生活クラブ 生活協同組合理事 原発はごめんた ヒロシマ市民の会代表 小児科医 (株)わたち大衆 代表取締役 東京ワーカーズユニオン ディア協同組合理事長 東京コスモスティー/バーバンク(東京CPB) 理事長 作家 要約あきやけ 子ども養育店主

きくちやすえさんを応援します

かとうぎ桜子 / 土屋としひろ
市民ふくしフォーラム 区議会議員 オンブズマン練馬 区議会議員

10年後の住まいは安心ですか？

「まだ現役で働いている」
 「生活のために働かされている」
 立場はさまざまですが、一番の心配事は
 やがて来る年金生活。今と変わらない生活はできるのか。
 2020年、都内総世帯数の21.5%が65歳以上となります。
 住み慣れた家・地域に住み続けたい。

65歳以上の47%が 年収200万円以下

東京都の調査(2010年)では、65歳以上の高齢者264万人のうち年収200万円以下は47%。二人なら何とか暮らせそうですが、おひとり様ではちょっと厳しいです。病気になったら通院できるのでしょうか。

表のように、特別養護老人ホーム(特養)やサービス付き高齢者向け住宅(サ高住)など、資金に余裕があれば選択できます。昨年、「福祉先進都市・東京の実現に向けた地域包括ケアシステム在り方検討会議」から、団塊世代が75歳を迎える2025年までに、特養を6万人分、グループホームを2万人分、サ高住2万8千戸を増やす必要があると答申が出されました。

住まいは生活の基本

現在、サ高住は都内272件10,304戸ありますが、国民年金(月額約6万円)ではとても手が届くものではありません。都営住宅を建て替える際に、若者に限らず高齢者もルームシェアをし、福祉施設も併せた複合型の住まいを提供できるように法改正が必要です。空き家については、都と国からの改修費助成で「グループリビング」が実現していますが、居住だけでなくコミュニティの拠点、高齢者や子どもの居場所、子ども食堂などにも使用できるように相続時の相談モデル事業が、生活者ネットワークの提案でスタートしています。

名称	施設の概要	入居時の費用 月額
都市型軽費老人ホーム	ケア付き住まい 低所得で自立している人	なし 12~25万円(所得による)
シルバーピア(公営賃貸住宅)	生活協力員が常駐 所得基準あり	敷金 1~13万円
ケアハウス	独り暮らしに不安がある人 低額	0~数百万円 7~15万円
サービス付き高齢者向け住宅	安否確認、緊急時対応、 生活相談あり	0~敷金・礼金 平均20万円
有料老人ホーム	健康な人向けから 介護付きまで様々	0~数千円 15~30万円
介護型ケアハウス	施設内に24時間体制の 介護スタッフが常駐	0~数百万円 15~20万円
介護付有料老人ホーム	生活支援と24時間体制の 介護のサービス	0~数千円 15~30万円
認知症グループホーム	グループ単位で日常生活を スタッフと共同でおこなう	一時金あるところも 12~15万円
特別養護老人ホーム	要介護3以上で居宅での 介護が困難な人	なし 5~18万円
介護老人保健施設	病後の家庭復帰のために リハビリ等受けられる	なし 6~16万円
介護療養型医療施設	長期療養が必要な人が医療、 介護、リハビリ等受けられる	なし 7~17万円

※出典：2015年3月練馬区発行の「高齢者を安心して過ごすための住まいのガイドブック」抜粋

菊地 靖枝 ● きくち やすえ プロフィール

■1963年 生まれる ■1975年 練馬区立開町小学校卒業 ■1978年 練馬区立石神井西中学校卒業 ■1981年 都立荻窪高等学校卒業 ■1985~87年 広告制作会社勤務 ■1996・97年 生活クラブ生協関東支部委員長 ■2002年度、2004年度 区内小、中学校 PTA 役員 ■2005~2007年 練馬区・東京都のママさんバレー審判部に所属 ■2007~15年 練馬区議会議員(2期) ■2015年 都議会生活者ネットワーク政務調査会スタッフ ■2016年 現在 東京・生活者ネットワーク政策委員、東京コミュニティパワーバンク理事 ■現在の地域活動など/小学校図書ボランティア、市民のエネルギーひろば・ねりま、校・原発のない未来を子どもたちに@練馬
 家族構成：夫、子ども(成人)2人 趣味：バレーボールがエネルギーの源 関町北在住

生活者ネットワークのルール

議員報酬は市民の政治活動資金に
 議員報酬は市民の政治活動資金に活かせます。お金の流れは公開します。

選挙はカンパとボランティアで
 お金(カンパ)と知恵、労力(ボランティア)を出し合い、選挙を行います。

議員は交代制(ローテーション)
 生活者ネットワークの議員は、議員を職業化、特権化せず、議員は原則2期(8年)で交代します。任期を終えた議員は、市民政治のためにその経験を活かします。

カンパはこちらに
 お問い合わせ。 **カンパ振込先**【郵便振替】00100-6-398010 練馬生活者ネットワーク



「きくちやすえとTokyoみんなの声」集会

【日時】2017年5月12日(金)18時~
 【場所】練馬区立石神井公園区民交流センター2階 展示室兼集会室
 【内容】子どもの居場所についての団体報告など
 【問合せ】練馬・生活者ネットワーク ☎03-3993-4899 ✉info@nerima-net.gr.jp

きくちやすえの 提案

- 「ひと」が大切にされるまちづくり
- 貧困が連鎖しない社会の実現
- 女性や若者の雇用の安定
- ひとりにはしない子育て・介護
- 高齢者・障がい者・妊産婦・子どもの視点で減災のまちづくり
- 原発に頼らない再生可能エネルギーを地域でつくり、地域でつかう



練馬・生活者ネットワーク **山口文江** / **きみがき圭子** / **橋本けいこ** / **やない克子** / **吉川みさ子** / **橋本まき**
元都議会議員 練馬区議会議員 練馬区議会議員 練馬区議会議員 元区議会議員 元区議会議員

共に活動しています **東京・生活者ネットワーク** **西崎光子** / **山内れい子** / **小松久子**
都議会議員 都議会議員 都議会議員